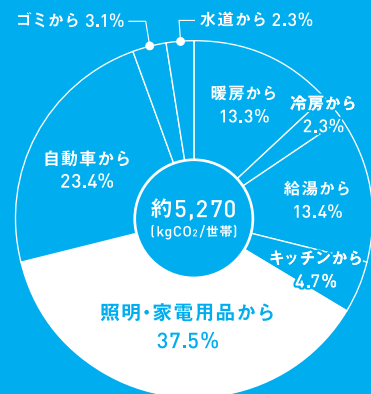


「移動」を「エコ」に。

smart move

「移動」を「エコ」に。いつもの暮らしから、始めよう。

smart move (スマートムーブ)とは、日常生活のさまざまな移動手段を工夫し、CO₂排出量を削減しようという取組です。家庭から排出されるCO₂では、自動車からの排出量は全体の1/4程度を占めています。私たち毎日の通勤・通学・買い物や旅行で意識的に歩いてたり、自動車や公共交通機関を利用したり、自動車の使い方を工夫するなど、CO₂排出量の少ない移動を実践することで、健康にも良く、快適で地球にもやさしい暮らし方ができるのです。



2012年度 家庭からの二酸化炭素排出量
(世帯当たり・用途別内訳)

出典:温室効果ガスインベントリオフィスをもとに作成

スマートムーブ 検索

smart move が 推進する5つの取組

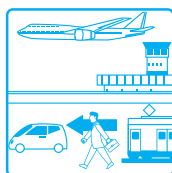


2. 自転車、徒歩を見直そう (自転車や徒歩での移動の推奨)



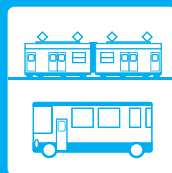
自転車や徒歩はCO₂を全く出さない移動方法、これこそ究極のsmart moveです。最寄り駅までや、渋滞の起こりやすい都市中心部、そして乗換え駅間の移動などは積極的に自転車や徒歩で。地球温暖化防止につながるのももちろんのこと、なにより健康的ですね。

4. 長距離移動を工夫しよう (エコ旅行やエコ出張等の実施)



例えば長距離は目的地への到着時間が正確な新幹線などの公共交通機関、旅行先ではバス、電車、自転車を利用するなど、CO₂を削減できる要素がたくさん。さらに飛行機の利用や旅行時に排出されるCO₂をオフセット(埋め合せ)できるエコ旅行やエコ出張の取組も登場しています。

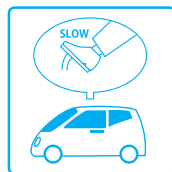
1. 公共交通機関を利用しよう (電車、バス等の公共交通機関の利用)



通勤や通学はもちろん、旅行やちょっとした外出なども電車やバスの利用を心がけましょう。ハイブリッドバスやLRT*などの低炭素な公共交通や、自然エネルギーを活用した最新型の車両等も登場しています。また、目的地に定刻に到着できる正確さも、日本の公共交通機関の魅力です。

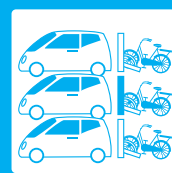
*LRT: ライトレールトランジットの略。低床式車両の導入による移動のバリアフリー化など、人と環境にやさしい次世代型路面電車システム。

3. 自動車の利用を工夫しよう (エコドライブの推奨、エコカーへの乗り換え)



「ふんわりアクセル」や「アイドリングストップ」等のエコドライブは燃費も良くなり経済的、燃料消費量を最大で約1/4削減できるというデータも。また、ハイブリッド車やEV車などエコカーへの乗り換えもCO₂を大幅に削減できます。

5. 地域や企業の移動・交通におけるCO₂削減の取組に参加しよう (カーシェアリング、コミュニティサイクル等の利用促進)



カーシェアリング

1台の自動車にかかる費用を複数の会員で分担、利用するサービス。車を所有しないため5~10分程度の「ちょい乗り」が減り、車の利用時間も大幅に減るとのデータも。

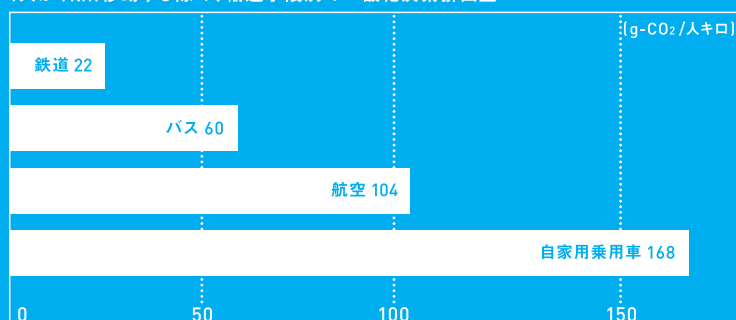
コミュニティサイクル

借りた自転車を、違う場所で返却できる公共交通システム。東京、横浜、京都などの他、観光地でも普及しています。

移動手段でこんなに違う、CO₂排出量

1人が移動する場合、マイカーでのCO₂排出量を10とすると鉄道は約1、バスは約3、徒歩や自転車はゼロ。環境への負荷が小さい公共交通機関の利用など、日常生活で移動手段を工夫することはCO₂排出量を削減するために大きな意味があります。

1人が1km移動する際の、輸送手段別の二酸化炭素排出量



出典: 輸送量あたりの二酸化炭素の排出量(旅客)2012年度(国土交通省)